

問1 中国地方に位置する鳥取県の農業産出額において、約58%と半分以上を占めている、この県の農業の特色といえる部門はどれですか。 (2017年

富山県公立入試 類似)

1. 野菜

2. 果実

3. 畜産

4. 米

問2 中国地方を構成する各県の県庁所在地の位置関係について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)

1. 鳥取県の県庁所在地は松江市であり、島根県の県庁所在地である鳥取市の東側に位置している。

2. 島根県の県庁所在地である松江市は、隣接する鳥取県の県庁所在地よりも西側に位置している。

3. 山口県の県庁所在地は山口市であり、島根県の県庁所在地の東側に隣接している。

4. 島根県の県庁所在地は広島市であり、瀬戸内海に面した政治・経済の拠点となっている。

問3 1991年から2000年代にかけての徳島県における小売業売場面積の推移について、正しい説明はどれですか。統計資料の数値に基づいた記述を選びなさい。 (2024年 京都府公立入試 類似)

1. 2004年に面積が最小となり、2016年にかけて全国平均を上回る急激な増加を見せた。

2. 1991年から2016年にかけて、売場面積は常に100万平方メートル以上を維持している。

3. 1991年の約92万平方メートルから増加し、2004年には100万平方メートルを超えた。

4. 1991年から2007年にかけて一貫して減少し続け、商業活動の規模が縮小した。

問4 山口県の瀬戸内海沿岸に形成されている「石油化学コンビナート」の仕組みや背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2018年 富山県公立入試 類似)

1. 高速道路のインターチェンジ付近に工場を集積させ、部品の組み立てから輸送までを陸路中心で行っている。

2. 内陸部の豊かな水資源を利用して、半導体などの精密機械を製造する小規模な工場が各地に分散している。

3. 原料を精製する工場と、それを利用する複数の工場がパイプライン等で結ばれ、効率的に生産を行っている。

4. 海外から輸入した鉄鉱石や石炭を原料として、大規模な高炉を用いて鋼鉄を生産する体制を整えている。

問5 四国地方にある4つの県について、各県の主要な農作物の収穫量を比較した統計において、みかん（かんきつ類）の年間収穫量が12万トンを超え、四国地方で最大の産地となっている県はどこですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)

1. 香川県

2. 徳島県

3. 高知県

4. 愛媛県

問6 瀬戸内海に面した愛媛県などの地域に見られる気候の特色と、その特色を活かした農業の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

1. 冬に季節風の影響で雪が多く降る気候を活かし、夏でも涼しい標高の高い地域において、キャベツなどの高原野菜の栽培が盛んに行われている。

2. 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。

3. 年間降水量が2500mmを超える多雨な気候を活かして、平野部を中心にビニールハウスを用いた野菜の促成栽培が盛んで、農業産出額の半分以上を野菜が占めている。

4. 夏の季節風の影響により年間を通じて降水量が多く、広大な平野を活用した大規模な稲作が盛んで、農業産出額の半分以上を米が占めている。

問7 中国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、臨海部の埋立地を中心に石油化学コンビナートや製鉄所、自動車工場が集まる重化学工業が発達しています。また、温暖な気候の丘陵地では「白桃」や「マスカット」といった高級果実の栽培が盛んに行われています。この特徴にあてはまる都道府県として正しいものを選んでください。 (2020年 徳島県公立入試 類似)

1. 北海道

2. 岡山県

3. 鹿児島県

4. 静岡県

問8 四国地方の愛媛県や高知県付近の気候と農業の特徴について述べた文として、適切な組み合わせはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 季節風による冬の積雪と、広大な平野部での大規模な機械化による稲作。

2. 寒流の影響による冷涼な気候と、冬の乾燥した晴天を活かしたリンゴなどの栽培。

3. 暖流の影響による温暖な気候と、台風がもたらす多量の降水を活かした柑橘類などの栽培。

4. 内陸部特有の年間を通じて雨が少ない気候と、砂丘地帯でのメロンやラッキョウの栽培。

問9 中国地方の日本海側に位置する島根県の特徴について、正しい説明はどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

1. 県庁所在地が松江市であり、県名と県庁所在地の名称が異なっている。

2. 県庁所在地が岡山市であり、県名と県庁所在地の名称が一致している。

3. 県庁所在地が鳥取市であり、砂丘などの自然景観が有名である。

4. 県庁所在地が山口市であり、本州の最西端に位置している。

問10 愛媛県の農業産出額において、果実の占める割合が他の都道府県と比較して非常に高い水準にある理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 冷涼な気候を活かし、リンゴやサクランボの生産に特化しているため

2. 都市近郊に位置し、鮮度が重視される高級果実を生産しているため

3. 日当たりの良い傾斜地が多く、かんきつ類の栽培に適しているため

4. 大規模な平野を活用し、機械化された果樹園が広がっているため

問11 瀬戸内海沿岸の地域では、年間を通じて降水量が少なく晴天の日が多いという気候の特色が見られます。このような気象条件が形成される理由として、地形と季節風の関係を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)

1. 暖流である対馬海流の影響により、一年を通じて乾燥した空気が流れ込みやすいため

2. 貿易風が一年中吹き抜けることで、上空の雲が常に押し流されているため

3. 冬の季節風が日本海側で水分を落としたあと、高い山地がないためそのまま吹き抜けるため

4. 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った空気を運ぶ季節風をさえぎるため

問12 日本の各地域とその地域に位置する文化遺産の地理的特徴についての説明として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)

1. 四国地方の太平洋側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。

2. 東海地方の太平洋側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。

3. 東北地方の太平洋側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。

4. 中国地方の日本海側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。

問13 四国地方の高知県では、黒潮（日本海流）の影響による温暖な気候を利用して、ピーマンやなすなどの野菜を、他の地域よりも早い時期に育てて出荷する栽培方法が盛んに行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 抑制栽培

2. 施設園芸農業

3. 促成栽培

4. 近郊農業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 畜産	鳥取県では、中国地方の最高峰である大山の裾野（ふもと）に広がる広大な土地を有効に活用した畜産業が非常に盛んです。その規模は大きく、産出額全体の過半数を占めるほどであり、次いで米（約12%）、野菜（約10%）という順になっています。このように特定の県で畜産が極端に高い割合を示すのは、その土地の地形的特徴が強く反映されているためです。
問2	答え 2 鳥根県の県庁所在地である松江市は、隣接する鳥取県の県庁所在地よりも西側に位置している。	山陰地方にある鳥根県と鳥取県は、しばしば名称や位置が混同されます。鳥根県の県庁所在地は松江市、鳥取県の県庁所在地は鳥取市です。この2つの市は隣接する県同士の県庁所在地として比較的距離が近いですが、位置関係としては松江市の方が西にあります。広島市は広島県、山口市は山口県の県庁所在地であり、山口市は松江市よりもさらに西側に位置します。
問3	答え 3 1991年の約92万平方メートルから増加し、2004年には100万平方メートルを超えた。	徳島県の小売業売場面積は、1991年の約92万平方メートルから2004年には100万平方メートルを超えるまで増加しました。その後、2007年にピークを迎え、以降は緩やかな減少に転じています。この1990年代から2000年代半ばにかけての増加は、当時の商業活動の規模拡大を反映しています。
問4	答え 3 原料を精製する工場と、それを利用する複数の工場がパイプライン等で結ばれ、効率的に生産を行っている。	石油化学コンビナートは、原油を蒸留して得られるナフサを原料として、プラスチックや合成ゴムなどの多様な製品を製造する工場群が一体となった拠点です。各工場が物理的に連結されることで、原料やエネルギーを無駄なく循環させる高度な生産体制が築かれています。
問5	答え 4 愛媛県	四国地方の西側に位置する愛媛県は、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かした果樹栽培が極めて盛んであり、みかんの収穫量は四国地方の他の3県を大きく引き離して最大となっています。一方で、香川県では小麦、高知県ではなすなどの生産が盛んであるといった、県ごとの農業の特色があります。
問6	答え 2 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。	瀬戸内海沿岸の地域は、北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく温暖な気候が続くという特徴があります。愛媛県では、この乾燥しやすく温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地を有効に活用することで、みかんをはじめとする果実の生産が極めて盛んになっています。実際の統計においても、農業産出額に占める果実の割合は約40.2%に達しており、米の約10.9%や野菜の約16.4%と比較して非常に高いのが特徴です。なお、年間降水量が極めて多い選択肢は、高知県などの太平洋側の気候を説明したものです。
問7	答え 2 岡山県	岡山県は瀬戸内工業地域の一隅を担っており、特に倉敷市の水島地区などの臨海部では、石油化学工業や製鉄業、自動車工業などの重化学工業が非常に盛んです。一方で、内陸の丘陵地では温暖で降水量が少ない気候を活かし、白桃やマスカット・オブ・アレキサンドリアといった付加価値の高い果物栽培が行われているのが大きな特徴です。
問8	答え 3 暖流の影響による温暖な気候と、台風がもたらす多量の降水を活かした柑橘類などの栽培。	四国地方、特にその南部は黒潮という暖流の影響で非常に温暖です。夏から秋にかけては台風の通り道となるため、年間降水量は多い部類に入ります。このような「温暖・多雨」という環境に加え、山地の斜面を利用することで日当たりを確保し、愛媛県のみかんに代表されるような柑橘類の生産が盛んになりました。選択肢にある冷害（寒流）や積雪、砂丘といった特徴は、東北地方や日本海側、鳥取県などの特徴であり、四国地方には当てはまりません。
問9	答え 1 県庁所在地が松江市であり、県名と県庁所在地の名称が異なっている。	鳥根県は、県庁所在地が松江市です。中国地方の他県（鳥取・岡山・山口）が県名と同じ都市に県庁を置いているのと対照的であり、試験では隣接する鳥取県（県庁所在地は鳥取市）と混同しないよう注意が必要です。松江市は宍道湖に面した城下町としても知られています。
問10	答え 3 日当たりの良い傾斜地が多く、かんきつ類の栽培に適しているため	愛媛県の農業産出額で果実の割合が高い背景には、その地形と気候があります。瀬戸内海沿岸を中心に日当たりの良い傾斜地が多く、水はけも良いため、かんきつ類の栽培に最適な環境が整っています。このため、米作り中心の平野部が多い地域とは異なり、付加価値の高い果実が農業経済の柱となっています。
問11	答え 4 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った空気を運ぶ季節風をさえぎるため	瀬戸内地域は、北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれています。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にさえぎられるため、それぞれの山地の風下にあたる瀬戸内海沿岸には湿った空気が届きにくくなります。この地形的要因によって降水量が少なくなり、晴天の日が多くなるという独特の気候が生まれます。
問12	答え 4 中国地方の日本海側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。	石見銀山がある鳥根県は、中国地方の日本海側に位置しています。東北地方や東海地方、四国地方ではありません。
問13	答え 3 促成栽培	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早める工夫をしています。これにより、他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することが可能となり、高い収益を得る仕組みとなっています。これに対し、冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。